



令和4年度各部の活動報告



南風

第187号

発行者
大野城市南地区
コミュニティ
運営協議会
会長 上野節義
編集
情報広報部

地域振興部 部長 原田 ゆみ子

地域振興部では、コロナ禍でこれまで活動ができていませんでした。このような状況の中、令和4年度はどのような活動ができるかを検討し、12月に歴史探訪ウォーキングを実施しました。小学生を含め、33名が参加して約10キロ、2時間の行程を元気に全員が完歩しました。こころのふるさと館職員の方から説明していただきながら、小水城や梅頭窯跡、三兼池、日の浦池、仙頭が浦池などを巡りました。

牛頸台地から上大利方面にかけて農業用水を確保するため、江戸時代末に地域住民が私財を出し、重機もない中で住民自らが力を合わせて築いた「ため池群」に大きな感銘を受けました。2月には、糸島市の移動交通を学ぼうとオンデマンドバスの視察研修も2年越しに実施することができました。部員一同心を合わせ、来年も頑張りたいと思いますので、皆さまのご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

文化芸能部 部長 小湊 正憲

世界的パンデミックで3年間色々な行事が開催出来ませんでした。今年度は南コミまつり・大文字まつり・芸能発表大会を部員35名の協力、皆さまの暖かいご支援により無事開催出来ました。来年度は、研修視察をかわきりに、今年度中止した、まつり南風・年忘れふれあいパーティを含め各行事に積極的に参加して行く所存です。来年度も文化芸能部を宜しくお願い申し上げます。

スポーツ部 部長 木村 誠司

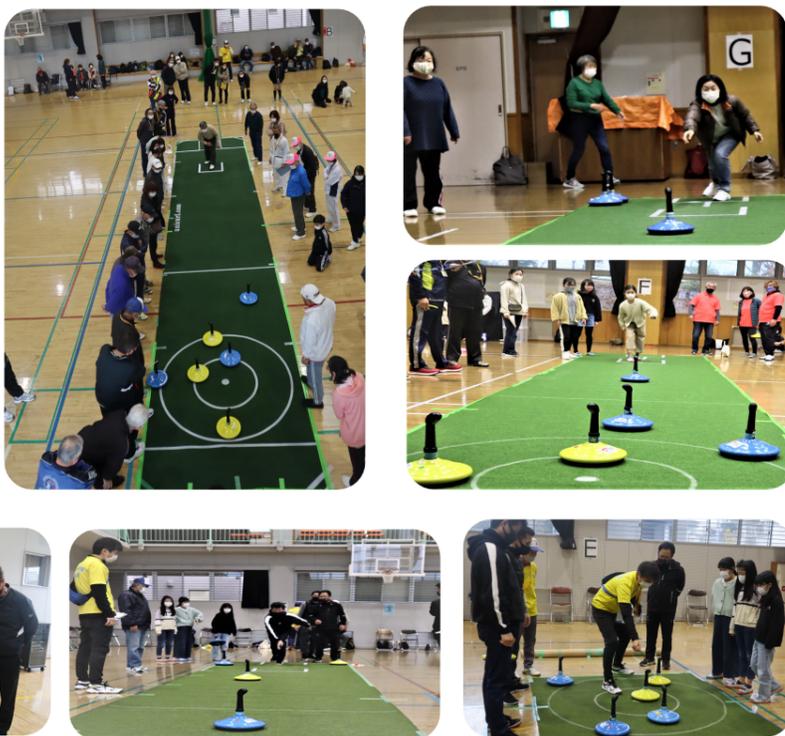
今年度は3年ぶりに色々な行事を再開できたことを嬉しく思います。7月に「区対抗五目お手玉大会」10月に「大野城市市制50周年記念MADOKAれくスポ祭」2月に「区対抗ユニカール大会」を開催できました。ただし、コロナ禍で感染症拡大対策、大会内容縮小、会場の分散など制約の多い大会となりました。この状況下でも五目お手玉大会84名、れくスポ祭区対抗競技122名、ユニカール大会84名の選手の方々に大変盛り上げていただきましたことを感謝申し上げます。

今年度の経験をいかし今後も選手・スタッフが安全・安心に活動できるように準備し、地域の多くの方々が集い交流できる場を作っていきますので、ご参加いただけると幸いです。

区対抗ユニカール大会

成績	区対抗戦	チーム戦
優勝	牛頸区	あまなか (つつじヶ丘区)
準優勝	南ヶ丘1区	牛頸悠々会 (牛頸区)
3位	月の浦区	このゆびとまれ (若草区)

2月19日(日)南コミュニティでユニカール大会がふれあいホールと多目的室で開催され、各区より4チーム計28チームが参加しました。1チーム3名で相手チームのストーンを弾き飛ばしたり、味方チームのストーンを援護したりして最終的には相手チームのストーンよりセンターサークルにストーンを近づける。これを6人全員が3回ずつ投げ終わった後、得点を計算し勝敗を決めます。



ジャンケン大会



区対抗優勝 牛頸区

チーム戦優勝 あまなか



第42回 芸能発表大会

3月5日(日)第42回芸能発表大会が南コミュニティ多目的室で行われ、フラダンス、キッズダンス、新体操、舞踊、詩吟、歌謡、ひよつとこ踊り等バラエティー豊かな43演目が披露され、出演者は日頃の成果をステージで見事に発表されました。



プログラム全43演目の写真は4月30日まで南コミロビーで展示予定です

